

野田 九条通信

2010年4月号

53

「野田・九条の会」事務局

7122-0502

野田九条の会ホームページ
http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/

8/7・8 平和のための戦争展準備本格化 皆さんの一層の参加・協力を

今年で4回目になる野田市の「平和のための戦争展」は、8月7日～8日開催に向けて、実行委員会が始まっています。

今年では過去の戦争を謙虚に語り継ぎ、戦争を知らない若い方々とディスカッションできる場をぜひ作りたいと、いろいろ知恵を出し合いました。また今年には地域の九条の

会も「千葉県

会も「千葉県の戦跡、毒ガス」や「沖繩」の問題をテーマに展示を考えていることなどが出されています。次回実行委員会までに企画を持ち寄ることにしました。

平和市長会議に野田市も加盟したということもあり、野田市のバックアップも望みたいところです。開催趣旨に賛同す

る方は誰でも実行委員会への参加ができます。また戦争当時の資料などお持ちの方、展示にご協力いただけませんか。ご連絡

絡くださればお伺いします。

次回実行委員会は4月25日(日)PM1時半、櫻のホール4階研修室

人と人の関係築こう

戦跡見学で平和への思い強く

3月28日、野田九条の会主催バスツアーは、参加者39名で館山の戦跡「赤山地」下壕、戦闘機を隠す「掩体壕」などを見学、安房地域の歴史を学んできました。戦争末期本土決戦に備え、7万人

もの軍隊が配備され、米軍を迎え撃つ体制を整えていった地、第2の沖繩を想定していたとされた館山、実際米軍3500人が上陸して来て4日間直接軍政が行われたという。その海岸にも行つて

みた。

その海岸の水にもぐつて、「竹筒に火薬をつめ迎え撃つ訓練もしていた」という。

行ってきました館山

南房総でイメージするのは、海そして花摘み。戦時中は花作り農家が「国賊」といわれ、種や苗を焼却させられたが、農民たちは秘かに種苗を守り、現在の花街道へと引き継がれました。

「これぞ、房総に息づく九条の精

平和の文化を根付かせたい

西ニケ尾 柏木 静江

それらが市民によってどのように守られたかを理解した上で見学を、と一

にはならない“ピースツーリズム”ですと話されました。

今回見学コースになった「嘸従軍慰安婦」石

碑など見るべきものが多く、別れに「何度でも来てください」と手を振るNPOメンバーの姿が印象に残りました。おみやげにポピーの花束をくださった「館山九条の会」の方々とお話できなかつたのは心残りです。

この欄への400字程度の原稿をお待ちしています。

現地見学に先立ち、海を臨むホテルで安房文化遺産フォーラムの方から、安房地域の歴史を学んだ。古くから、海を通し韓国、中国などアジアの人々との交流があり、今も歴史を学び共生の精神を受け継いでいるという。国と人の関係は築いていくことの大切さを学んだ一日でした。

(今月の予定は裏面参照)



えんたいこう 掩体壕の前で